

# 第47回キヤンサーボード開催のお知らせ

日時:平成22年3月3日(水) 18:00-19:00

場所:附属病院4階 第1会議室

テーマ:白血病の診断と治療(リ・血・感)

## 第46回キヤンサーボード報告

### 新しくなったRECISTについて

#### (消化器・腫瘍外科より)

お問合せは・・・  
がんフロ 川上(内線2623)  
経営企画 水野(内線2807)

今回は、22名の方に  
ご出席いただきました。  
ありがとうございました。

RECIST(Response Evaluation Criteria in Solid Tumors)とは、  
固形がんの治療効果判定のための新ガイドラインである。

#### RECIST の目的と対象

- RECIST の目的・・・第II相試験で客観的な腫瘍縮小効果をprimary endpoint
- RECIST の対象・・・成人および小児の固形がんの臨床試験、腫瘍の大きさの変化を客観的に評価、固形がんの測定および定義に対する標準的な方法
- 別の効果判定基準:脳腫瘍、悪性リンパ腫
- 日常診療における意思決定-意図されていない
- 治療を担当する腫瘍医が適切であると判断する場合
- 日常診療ではどの評価法を用いるべきかという問いに対して推奨される評価法や  
用いるべき評価法は存在しない

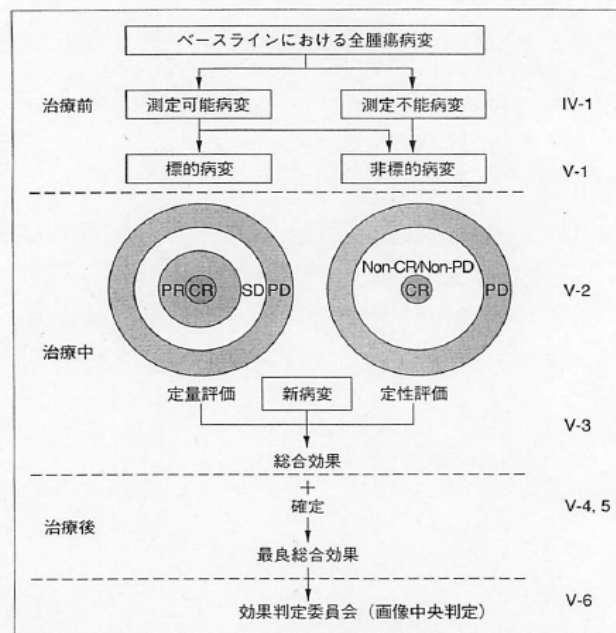


図1 RECIST全体像  
CR : complete response, PR : partial response, SD : stable disease, PD : progressive disease



正確さ=神のみぞ知る「真の値」に近いかではなく精密さ、比較可能性を検討する

	ver1.0	ver1.1
標的的病変の数 1臓器当たり	合計10病変まで 最大5か所	合計5病変まで 最大2か所
リンパ節	長径を測定	短径を測定 標的的病変:短径 $\geq 15$ mm 非標的的病変:短径10mm以上15mm未満 正常:短径 $< 10$ mm
増悪の定義	長径和の20%以上の増加	径の合計が最小値より20%増加かつ5mm以上の増加
非標的的病変の増悪	既存の非標的的病変の明らかな増悪	腫瘍量の明らかな増加
新病変		FDG-PETによる新病変の評価 ベースラインでPET陰性:その後PET陽性なら「新病変」 ベースラインでPET評価なし:PET陽性部位に一致してCTで新病変があれば「新病変」